



関根 康雄さん

矢吹町天開在住。昭和8年3月6日生まれ。18歳頃から絵を描き始め、現在も精力的に活動を行う。須賀川美術協会幹事、新彩会副会長を務める傍ら、ふるさとの森芸術村運営委員としても活躍。



「ふ

るさとの森芸術村」は、子どもたちの感性を

養うとともに、町内外の芸術文化活動の拠点となる施設です。ふるさとの森芸術村運営委員の一人、関根さんは、十八歳頃から独学で絵を描き始め、その後油絵を学び、展覧会では数々の入選を果たしてきました。

二十代の頃の関根さんは、絵を描くことに情熱を燃やしながらも、家業の農業を継ぎ、忙しい毎日を送っていました。絵を描く時間もとれず悶々とした日々が過ぎるなか、不慮の事故が関根さんを襲います。重傷を負った関根さんは、「神様が絵を描かせるためにけがをさせてくれた」と考え、

# 芸術文化活動の拠点に子どもたちの絵を展示

輝く、人、育む、心

矢吹町にある「ふるさとの森芸術村」。ここには子どもたちが描いた絵が飾られています。絵の作者が大人になって幼い頃描いた絵を自分の子どもに見せに来てほしいとの願いが込められています。

入院中から絵筆を執ります。その後、展覧会への出品、個展の開催など、活発に活動を展開します。

子ども

たちとの

出会いは

非常勤講師

を務めた

たときの

こと。初

めは画用

紙に名前

も書かな

かった子ども

が徐々に名前を

書き、日付を書き、変化して

いきます。絵を巡って、お互いに認め合うことができるようになり

ます。



森に囲まれた「ふるさとの森芸術村」

「ふ

るさとの森芸術村運営委員となったのは、非常勤講師時代に子どもたちとふれ

あった経験から、

子どもの

美術館を

つくるという趣旨

に賛同し

てのこと。

絵を出品

した子ども

も大人

になり、自分の子どもに幼い頃の絵を見せながら語らうことを楽しみにしています。